

Ⅱ 需給調整・価格安定対策

1 指定乳製品の価格動向等と機構の業務

(1) 概況

ア 乳用牛の飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は、昭和38年の41万7600戸をピークに減少し、令和6年（2月1日現在。以下同じ。）においては前年比94.4%の1万1900戸となった。

飼養頭数は、令和4年まで5年連続で増加したが、令和5年に減少に転じ、令和6年は前年比96.8%の131万3000頭となった。

一方、飼養戸数が減少する中、規模拡大は進展し、1戸当たり飼養頭数は110.3頭と、前年に比べ2.7頭増加した（表21）。

表21 乳用牛の飼養戸数・飼養頭数

区 分 調査年月日	飼 養 戸 数		飼 養 頭 数		1 戸 当 た り の 飼 養 頭 数	
	戸 数 (千戸)	前年比 (%)	頭 数 (千頭)	前年比 (%)	頭 数 (頭)	前年比 (%)
平成30年2月1日	15.7	95.7	1,328	100.4	84.6	104.8
平成31年2月1日	15.0	95.5	1,332	100.3	88.8	105.0
令和2年2月1日	14.4	96.0	1,352	101.5	93.9	105.7
令和3年2月1日	13.8	96.5	1,356	100.3	98.3	103.9
令和4年2月1日	13.3	96.4	1,371	101.1	103.1	104.9
令和5年2月1日	12.6	94.7	1,356	98.9	107.6	104.4
令和6年2月1日	11.9	94.4	1,313	96.8	110.3	102.5

資料：農林水産省「畜産統計」

イ 生乳の需給

令和5年度の生乳生産量は、生産者団体による生乳生産抑制の取組や夏場の猛暑の影響により、前年度比97.3%の732万8000トンとなった。地域別では、北海道が前年度比98.2%、都府県が同96.0%と、いずれも減少した。

用途別処理量の内訳を見ると、生乳生産量が減少したことに伴い、牛乳等向けは同97.4%、乳製品向けは同97.1%と、いずれも前年度を下回った（表22）。

表 22 生乳生産と用途別処理量

(単位：千トン、%)

区分 年度	生乳生産量		処理内訳					
			牛乳等向け		乳製品向け		その他向け	
	数量	前年度比	数量	前年度比	数量	前年度比	数量	前年度比
平成29	7,291	99.3	3,984	99.9	3,258	98.7	49	95.2
平成30	7,282	99.9	4,006	100.6	3,231	99.2	45	92.4
令和元	7,362	101.1	3,997	99.8	3,321	102.8	44	98.7
令和2	7,433	101.0	4,034	100.9	3,355	101.0	45	100.1
令和3	7,647	102.9	3,998	99.1	3,599	107.3	49	111.0
令和4	7,533	98.5	3,941	98.6	3,545	98.5	46	93.4
令和5	7,328	97.3	3,840	97.4	3,400	97.1	47	102.0

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

ウ 主な乳製品の生産量

令和5年度の乳製品の生産量は、生乳生産量の減少等を受けて、バターは前年度比93.6%、脱脂粉乳は同95.4%といずれも減少した（表23）。

表23 乳製品の生産量

(単位：トン、%)

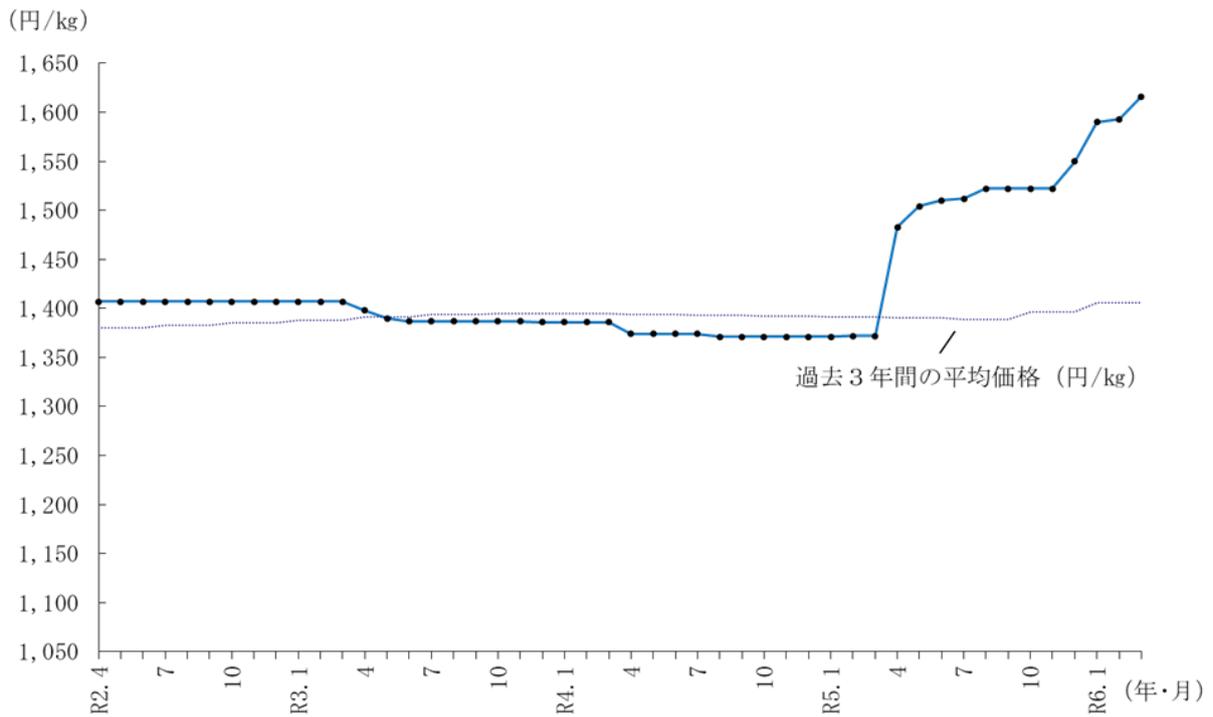
区分 年度	バター		脱脂粉乳		クリーム		チーズ	
	数量	前年度比	数量	前年度比	数量	前年度比	数量	前年度比
平成29	59,996	94.4	121,581	98.4	116,179	—	156,352	100.7
平成30	59,828	99.7	120,065	98.8	116,109	99.9	162,776	104.1
令和元	65,495	109.5	130,497	108.7	115,838	99.8	161,749	99.4
令和2	70,959	108.3	140,440	107.6	110,388	95.3	165,200	102.1
令和3	75,085	105.8	159,710	113.7	120,927	109.5	167,376	101.3
令和4	73,157	97.4	154,373	96.7	119,726	99.0	157,828	94.3
令和5	68,455	93.6	147,250	95.4	118,381	98.9	147,215	93.3

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

エ 指定乳製品の価格動向

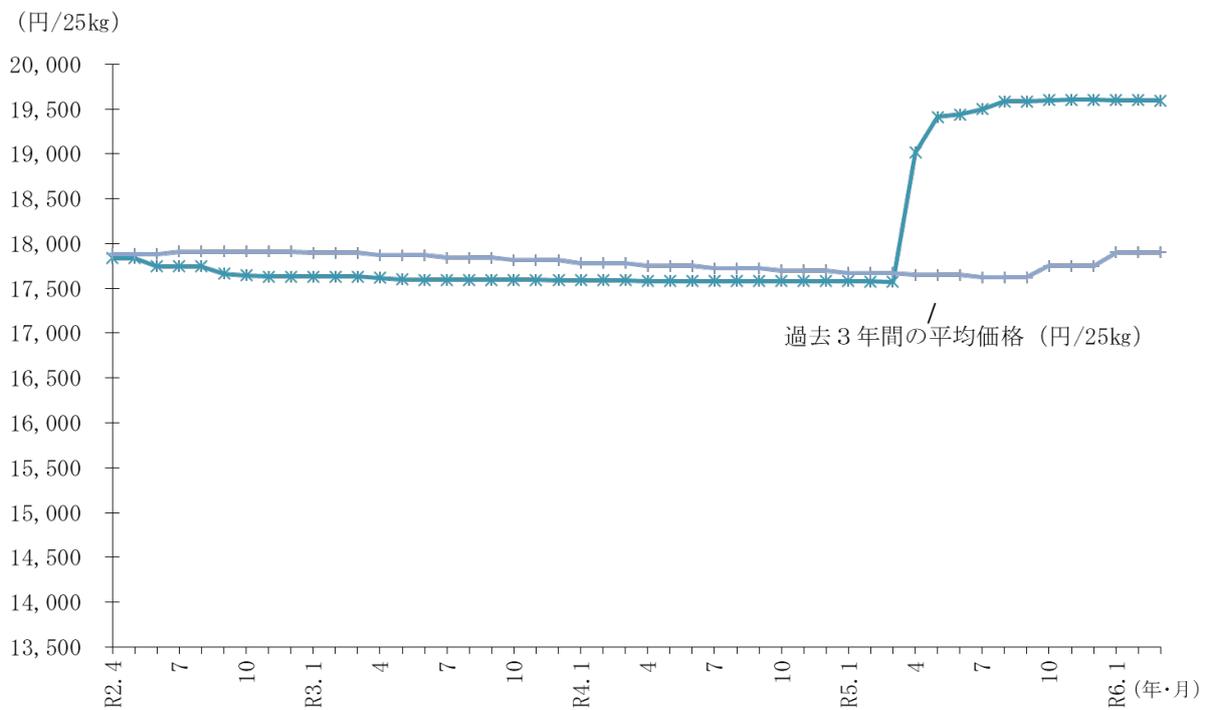
令和5年度のバター及び脱脂粉乳の市況（バターは1キログラム、脱脂粉乳は25キログラム当たり大口需要者向け価格：農林水産省牛乳乳製品課調べ、以下同じ。）は、令和5年4月の乳製品向け乳価の引き上げに伴う価格改定により、年度平均では、バターが1,537円（前年度比112.0%）、脱脂粉乳は1万9511円（同111.0%）と、いずれもかなり大きく上昇した（図10、図11）。

図 10 バター市況の推移



注：価格は消費税込みである。

図 11 脱脂粉乳市況の推移



注：価格は消費税込みである。

(2) 機構による指定乳製品等の輸入及び売渡し

ア 指定乳製品等の輸入及び売渡し

機構は毎年度、カレントアクセス（ガット・ウルグアイ・ラウンド合意に基づき、一定数量（生乳換算13万7202トン）の乳製品の輸入機会の提供を国際的に約束したもの）として、畜産経営の安定に関する法律（昭和36年法律第183号。以下「畜安法」という。）第17条第1項に基づき、農林水産大臣が定める数量の指定乳製品等を輸入している。また、同条第2項に基づき、指定乳製品の価格が著しく騰貴し、又は騰貴するおそれがあると認められる場合には、農林水産大臣の承認を受けて、指定乳製品等を輸入することが可能である。

平成29年度からは、輸入の予見性を高め、かつユーザーが輸入バターの調達計画を立てやすくすることで、指定乳製品等の需給安定に寄与するという観点から、毎年、前年度1月に追加輸入を含む翌年度全体の需給を見通した上で輸入枠（バター及び脱脂粉乳等の輸入予定数量）を公表し、5月及び9月に検証を行っている。

令和5年度については、バター及び脱脂粉乳のいずれも十分な在庫があることから、年度当初の輸入枠は、4年度と同様、WTOにおいて約束する最低数量（カレントアクセス数量）にとどめることとし、バター8,000トン、脱脂粉乳750トン等と設定された。同年度は、5月、7月、9月及び翌年1月に輸入枠の検証が行われた。

<令和5年度における輸入枠の検証の状況等>

① 脱脂粉乳

9月の検証では輸入枠は据え置かれ、同月までに実施した一般方式による輸入入札により計586トンが落札された。しかしながら、それ以降は、枠が消化されなかったことから、翌年1月に行われた検証において、脱脂粉乳の未消化枠数量164トンについて、バターに振り替えられた。

② バター

7月までの検証では、輸入枠の見直しは行われなかったが、9月の検証では、これまでの輸入・売渡入札の実施状況に基づき、輸入枠は10,320トンとされた。また、翌年1月に行われた検証により、脱脂粉乳の未消化枠数量が振り替えられた結果、バターの最終的な輸入枠は10,406トンとなった。

これにより、同年度のバターの売買同時入札方式（以下「SBS方式」という。）による毎月の輸入入札は2月まで実施され、輸入枠のほぼ全量が落札された。

③ ホエイ類、バターオイル

脱脂粉乳、バター以外のその他乳製品については、SBS方式による輸入入札を実施し、ホエイ及び調製ホエイは計426トン、バターオイルは計139トンが落札された。

（バター及び脱脂粉乳の輸入・売渡入札等の状況は表24のとおり）

イ 一般輸入に係る指定乳製品等の買入れ・売戻し等

機構は、アによるほか、畜安法第18条の規定に基づき、指定乳製品等の買入れ・売戻しを行っている。これは、ガット・ウルグアイ・ラウンドの国際約束に基づき、

指定乳製品等の輸入を関税化し、定められた関税相当量を支払えば、誰でも指定乳製品等を輸入できるとされたもので、「指定乳製品等の一般輸入」と称されている。

令和5年度の指定乳製品等の一般輸入については、買入・売戻件数が748件、数量は699トンとなり、前年度の702件、737トンから件数は増加したものの、数量は減少した（表25）。

表25 一般輸入に係る指定乳製品等の買入れ・売戻し実績（令和5年度）

（単位：件、Kg、円）

項目	件数	数量	買入金額	売戻金額
脱脂粉乳	70	94,546.28	125,523,544	144,747,623
全粉乳	84	326,579.36	307,730,841	422,090,954
その他粉乳	14	2,577.50	9,236,581	10,873,078
れん乳	18	8,562.88	20,654,170	22,363,802
バターミルクパウダー	8	6,435.20	7,358,917	8,988,906
ホエイ・調製ホエイ	42	13,210.98	124,955,949	126,259,977
バター・バターオイル	512	246,990.06	584,201,330	683,950,247
合計	748	698,902.26	1,179,661,332	1,419,274,587

注1：金額はすべて税抜き。

注2：売戻金額は、買入金額（輸入申告すべき価額）に調整金を加えたものであり、関税は含まない。